

43 セイタカシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

Himantopus himantopus

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

北海道、本州、四国、九州では不定期に渡来するが、本州の一部では繁殖している。沖縄では旅鳥。兵庫県では主に4-11月に記録がある。湖沼畔、河口、湿地、水田などに生息し、泥中の水生昆虫類や魚類、甲殻類などを採食する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、本州、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、(洲本市)、伊丹市、豊岡市、加古川市、高砂市、(篠山市)、南あわじ市、淡路市、稲美町、播磨町



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
古い記録は県内にはなく、近年に渡来するようになった。幼鳥の記録もあるため、県内での繁殖の可能性はある。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。



写真提供:但馬野鳥の会